



3月11日（金）14時46分

東日本大震災にて被災された方々の1日も早い復興を願うと共に、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。今できることは何かを日々考えながら、生かされている命を大切にしたいと思います。

ご意見・ご質問・ご感想・家づくりに関するお悩み等ありましたら、お気軽にお寄せ下さい。

FAX受付 054-636-2674
E-mail受付 info@kata-ken.co.jp

- 片山茂夫の声
- 現場最前線

◆ 今月のトピックス

代表者 片山茂夫の声

今月のニュースレターも地震のことを書くなんて思いもよりませんでした。

3月11日の午後、会社で見積りをしていて地震に遭いました。最近にない、長い横揺れを感じた地震でした。女子社員の中には気分が悪いと言った者もいます。

九州のみ揺れを感じなかった地震で、その他の地域は北海道から山陰、四国まで揺れを感じさせた、規模としては震度7（M9.0）という今までで最大級の地震となりました。日が経過するごとに被害の大きさが報道され、土曜日の夜から日曜日の夕方までテレビに釘づけになりました。

約3週間経ち、原子力発電の福島第1原発の被害が毎日大きくなり、国民に不安が募るような感じがします。もう少し的確な情報を発表してもらいたいものだと思います。

建築関係にも被害は各種の業種に出ています。構造用合板、サッシ、住宅設備機器などで工場が被害を受けて、生産が止まっているものが出てしまっていて、一部材料が入手困難となっております。

最近在庫を十分にはしないで、そのかわり流通のスピードが良くなったので、そちらのほうに頼っていた傾向もあります。1～2ヶ月間くらいはいろいろと困難があると思いますが、日本経済のためにも建築は裾野の広い業種ですから、一生懸命に受注活動を進めて貢献できればと思います。（右上に続く。）

この東日本大震災で、電気の停電で情報の入手が出来なかったことが大きなことだと感じました。携帯電話が重要で、電波はあっても充電できないと連絡を取り合うことも出来なかったことが残念に思います。情報通信の時代ですから、電気がないと何もできなくなってしまうことが判りました。

この震災で次期の対策として自家発電が注目されています。まだ蓄熱電気が普及する段階ではありませんが、古河電工が2年後には安くて性能の良い蓄熱電池を発売すると言っています。そうすると一気に自動車や住宅に使用されると思い、次期のエネルギーは太陽光発電（ソーラー発電）になるのではないかと考えられます。

原子力では事故があった時の代償が高くつき、国家も揺るがず問題になるからです。そしてこれからは地球に対してもやさしい、エコ発電の時代に確実にになると思います。

被災地の支援ということで3月19日に建築士会の方へ救援物資を少しですが送らせていただきました。これから復興が始まると思いますが、心より応援を致したいと思います。

（付記：3月22日の朝日新聞の記事を同封致します。）

現場最前線 ～工事現場レポート1～

<焼津市八幡に建つ家> (4人の住まい)

～2階建て 在来軸組工法 延床面積48.28坪 延施工面積56.71坪～

予定通り3月9日に上棟を致しました。天気に恵まれ、順調に進んでおります。雨はまだ1日降っただけですので、上棟後、野地板、スジカイ、間柱入れ、外壁の面材の構造用合板を施工して、外断熱材として遮熱材を屋根・床・外壁と、家全体を包むように施工しています。

4月に入ってから内部工事に入りました。まずは天井の仕上げ及び天井の下地づくりを進めています。



～4月10日（日）構造見学会開催決定！！

詳細は同封の別紙にてご案内しています。～